

旧赤松家だより

平成 31 年 4 月 3 日

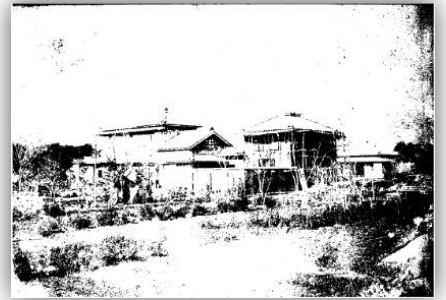


あたたかな春の日ざしが嬉しい季節となりました。

旧赤松家の母屋は明治 20 年代、赤松則良によって建築されました。赤松家は家族が多く、また親戚や使用人も住んでいたため、建築当時より増築を重ね、26 部屋の大邸宅となりました。

則良本人も正門屋根や母屋改修の一部を自ら行うなど、かなりこだわっていたようです。

しかし、母屋は大正 12(1923)年の関東大震災で東京の本宅が倒壊したため、大正 14(1925)年頃、東京に解体移築され、その後、昭和 20 (1945) 年の東京大空襲で焼失してしまいました。



明治 20 年代の赤松邸

内蔵ギャラリーでは、今月 3 日から桐林 正幸さんによる『桐林 正幸（白翠）水墨画展』を開催しています。

華山系南画と現代水墨画で、静寂や生命力あふれる奥深い作品を約 15 点展示していますので、ぜひご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『桐林 正幸（白翠）水墨画展』

開催期間：4 月 3 日（水）～4 月 16 日（火）

* 休館日 4 月 8 日（月）、15 日（月）

開催時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

（最終日は午後 2 時 30 分まで）

入 場 料：無 料

出 展 者：桐林 正幸（白翠）

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より